

# 訓点語学会

## 第一二三回 研究発表会

◇日時 二〇二〇年十月十八日(日) 午前十時～午後六時

◇会場 ZOOMによるオンライン開催

◇参加 会員限定で事前登録が必要です(会員にはハガキで通知しています)

### ○ 研究発表(午前十時)

一、合点を手がかりとする「字鏡集」の検討 伊藤 智弘(十時～)

二、中世文書に見られる変則的な「べし」の接続と  
意味用法との関係について 川野 絵梨(十時五十分～)

三、訓点資料コーパスの設計と意義 柳原恵津子・高田 智和(十一時四十分～)  
― 西大寺本『金光明最勝王経』平安初期点を用いた実践例 ―

休憩(十二時三十分～一時三十分)

四、石山寺本守護国界主陀羅尼経長保頃点の漢字音 肥爪 周二(一時三十分～)

五、「平安時代訓点資料ユニオンカタログ」編纂の構想 月本 雅幸(二時二十分～)

六、仏教漢文と『日本書紀』区分論 森 博達(三時十分～)

休憩(四時～四時二十分)

《招待発表》

七、仏家口訣と儒家口訣 河 正秀(四時二十分～)

○ 総会(五時三十分～六時)

〒六〇六―八五〇一 京都市左京区吉田本町

京都大学文学部国語学国文学研究室内

訓点語学会